

無線対応プレゼンテーション用機器



取扱説明書



ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みください。
また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

目次

1	最初にご確認ください	2	起動 USB を作成する	31
			ソフトウェアのバージョンを確認する	32
2	wivia を使うための準備	4	4 Web 管理画面の使い方	33
2-1	wivia 本体各部の説明	5	4-1 wivia Snaps	34
2-2	必要な機材を用意する	6	wivia Snaps を開始する	34
2-3	wivia 本体を設置する	7	wivia Snaps 画面を操作する	35
2-4	待機画面の説明	8	4-2 ログイン	36
2-5	PC の無線 LAN を wivia 本体に接続する	9	4-3 カンファレンスコントロール	37
補足	無線ネットワークの変更方法 (XP,Vista)	10	4-4 システム管理	38
補足	無線ネットワークの変更方法 (Win 7,8)	11	システム状態を確認する	38
補足	無線ネットワークの変更方法 (Mac)	12	ネットワークの設定を変更する	39
2-6	wivia ソフトウェアを準備する (Win)	13	投影画面の設定を変更する	42
	USB トークンから使う場合	13	システムログの設定をする	43
	インストールして使う場合	14	ユーザー名とパスワードを変更する	44
	wivia ソフトウェアを準備する (Mac)	15	待機画面の設定を変更する	45
			wivia Snaps の設定をする	46
			wivia 本体を出荷時状態に戻す	47
			ファームウェアをアップグレードする	48
			アクティベートを行う	49
			システムを再起動する	50
			補足 投影画面イメージファイルを作成する	51
3	wivia ソフトウェアの使い方	16	4-5 ログアウト	52
3-1	ソフトウェア画面の説明	17	5 参考	53
3-2	投影	19	5-1 ネットワーク構成方法について	54
	投影する (映像のみ) / 投影をやめる	19	6 故障かなと思ったら	56
	投影する (映像と音声)	20	6-1 トラブルの内容と対策	57
	4 分割投影する	21	6-2 エラーメッセージ一覧	60
	投影をポーズさせる	21	6-3 故障の場合の連絡先	61
3-3	動画	22	7 仕様	62
	動画を再生する	22		
補足	対応動画形式一覧	23		
3-4	設定	24		
	検索対象のネットワークを追加する	24		
	検索対象のネットワークを削除する	24		
	投影モード (DirectX 設定) を変更する	25		
	音声と画質の設定を変更する	26		
	設定情報をインポートする	27		
	設定情報をエクスポートする	27		
3-5	その他	28		
	投影画面を再検索する	28		
	すべての投影を停止する	28		
	Web 管理画面を表示する	29		
	wivia 本体の IP アドレスを確認する	29		
	カンファレンスコントロールに参加する	30		

wivia[®] は、株式会社内田洋行の登録商標です。
本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標
です。本書では、™、©、® などのマークは記載していません。
また、説明の画面は、実際と異なることがあります。

1 最初にご確認ください

■ wivia のバージョンをご確認ください

この取扱説明書は、以下のバージョンの wivia について説明しています。

wivia 本体ファームウェア : 2.1.0.0 以降
wivia ソフトウェア : 2.1.1.0 以降 (Windows 用) 2.1.0.0 以降 (Mac 用)

- Windows Mobile、iPhone / iPad および Android 搭載のスマートフォン、タブレットでご利用いただく場合は、それぞれに対応した取扱説明書をご参照ください。
- バージョンが異なると、機能や画面が説明と異なることがあります。
- 最新バージョンの wivia は、下記の wivia サポート Web サイトからダウンロードしてください。
- アップデート方法については、お持ちの wivia のバージョンに対応した取扱説明書を参照してください。

wivia サポート Web サイト (ダウンロードページ)

<http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html>

■ ご使用される環境をご確認ください

本製品を既設のネットワークに接続して利用する場合やセキュリティソフトのパーソナルファイアウォール機能を使用している場合には、導入前に既存システムの管理者にご確認ください。

■ 安全上の注意をご確認ください

ご使用前に、クイックマニュアル裏面に記載されている「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。「安全上のご注意」に記載されている警告及び注意事項が守られない場合、「感電」「火災」「故障」などが発生する可能性があります。これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一「発火」「発煙」「溶解」などが発生した場合には、速やかに本製品の利用を中止し、下記ウチダヘルプデスクまでお問い合わせください。

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前には以下のものをご用意ください。

- 弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ご使用のコンピューターの型番、オペレーティングシステム名およびネットワーク環境
- ご質問内容 (現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)
- ご使用中の wivia のファームウェアおよびソフトウェアのバージョン

ウチダヘルプデスク

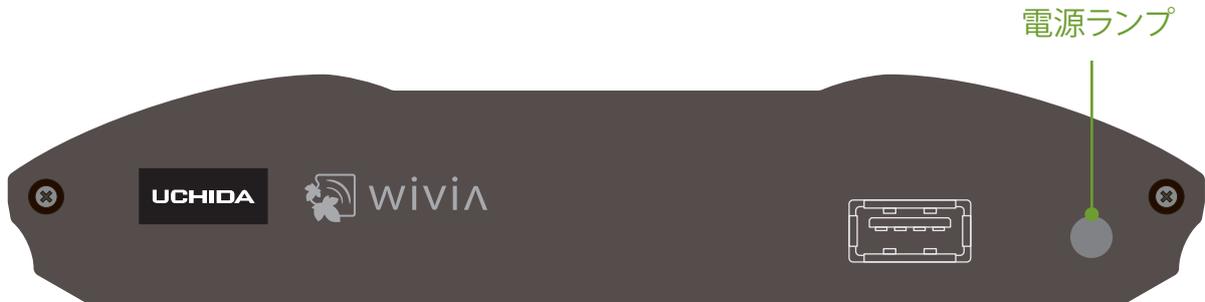
電話によるお問い合わせ : 0120-550-956 (携帯電話からはつながりません)

Eメールによるお問い合わせ : wivia-help@esco.co.jp

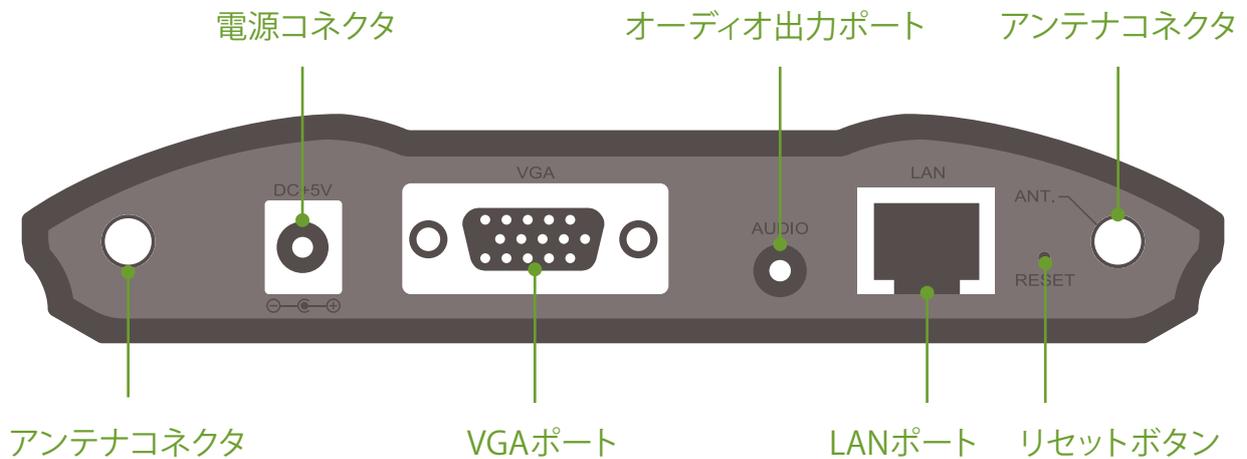
2 wivia を使うための準備

wivia 本体各部の説明

■ 前面



■ 背面





必要な機材を用意する

wivia をお使いいただくためには、付属品以外に別途下記の機材が必要です。

■ 無線 LAN 接続ができるコンピューター

有線 LAN 接続で使用する場合は、無線 LAN を搭載していないコンピューターからもご利用いただけます。 [参照 55 ページ](#)



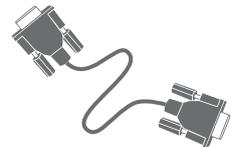
■ 表示機器

プロジェクターやモニターなど、VGA ケーブルで接続できる表示機器をご用意ください。



■ VGA ケーブル (15 ピン)

wivia 本体と表示機器を接続します。



■ スピーカー

wivia で動画を再生する際、音の再生が必要であればご用意ください。





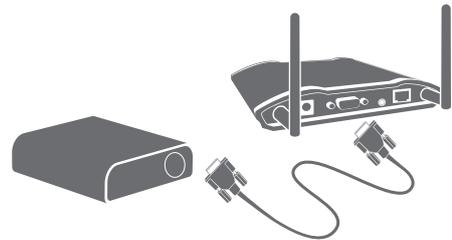
wivia 本体を設置する

- 1 wivia 本体に付属のアンテナを接続します

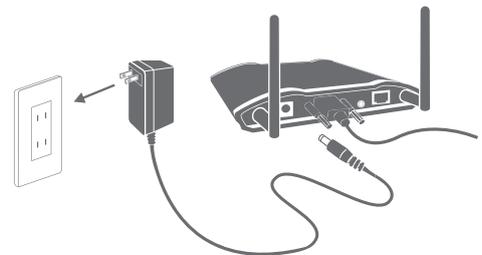


- 2 VGA ケーブルを wivia 本体背面の VGA ポートと表示機器に接続します

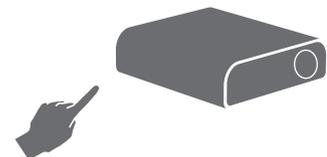
必要であれば、スピーカーを wivia 本体背面のオーディオ出力ポートに接続します。



- 3 付属の AC アダプタを wivia 本体背面の電源コネクタと電源コンセントに差し込みます



- 4 表示機器の電源を入れます



- 5 表示機器に wivia の待機画面が表示されることを確認します

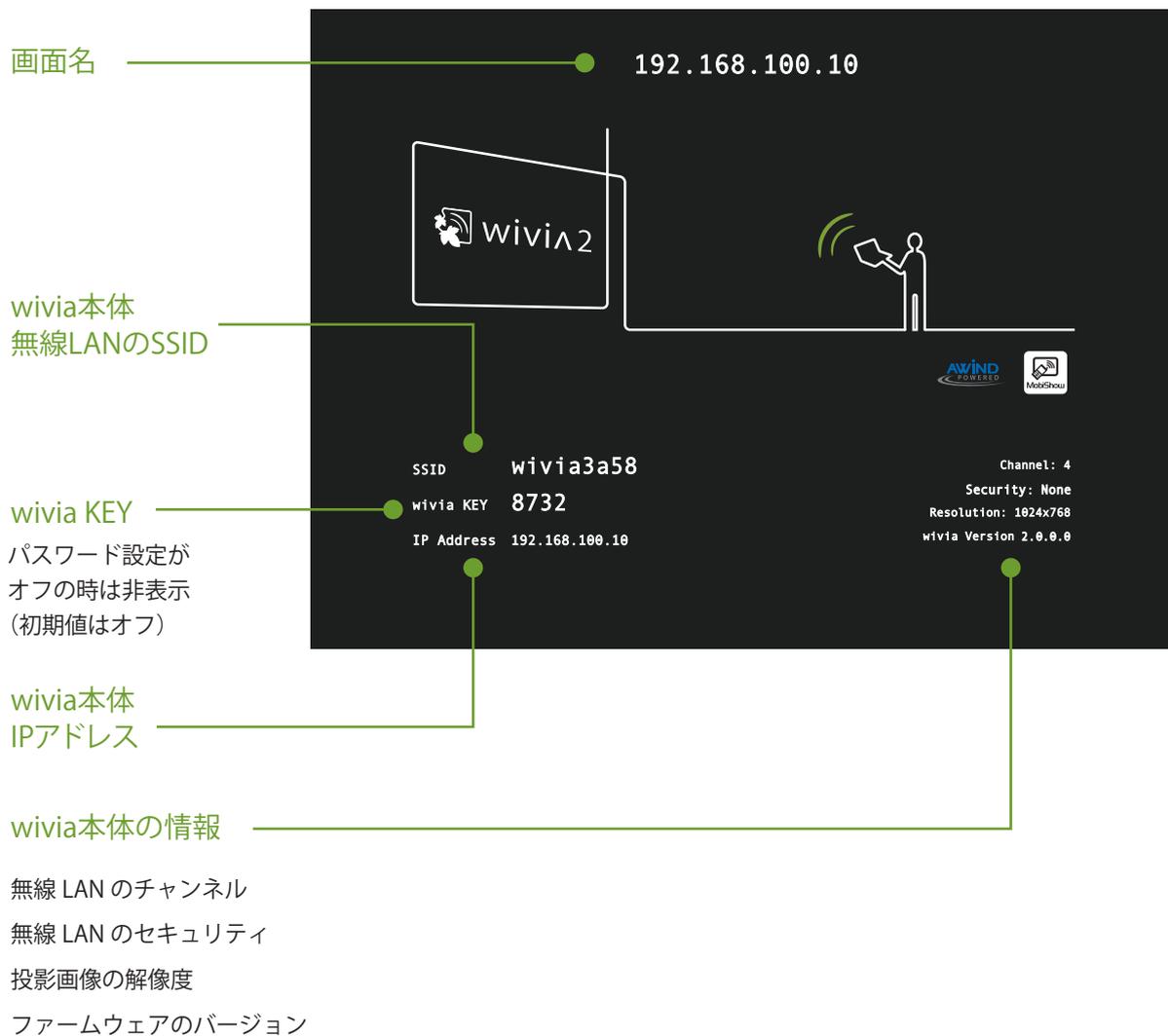


- wivia の使用後は付属の AC アダプタを電源コンセント、または wivia 本体背面の電源コネクタから外し、wivia 本体の電源を OFF にしてください。
- wivia 本体は電源の ON/OFF ができる場所に設置してください。
- wivia 本体の ON/OFF にはスイッチ付きの電源タップ等をご利用いただくこともできます。



待機画面の説明

wivia 本体を表示機器につないで起動すると、下記のような待機画面が表示されます。





PC の無線 LAN を wivia 本体に接続する

- 1 PC の無線 LAN を ON にします



- 2 待機画面左下に表示されている SSID のネットワークに接続を切替えます

待機画面に SSID が表示されていない場合は、ネットワーク構成を管理者に確認し、wivia が接続されているネットワークに PC を接続してください。



wivia を有線 LAN に接続して使用する場合には、wivia ソフトウェアから「検索の設定」機能を使用して、検索するネットワークに wivia が接続されているネットワークを追加することもできます。 [参照 24 ページ](#)

無線ネットワークの接続切替方法は、お使いの PC によって異なります。

Windows 標準の切替方法については、「補足 無線ネットワークの変更方法 (XP,Vista)」および「補足 無線ネットワークの変更方法 (Windows 7,8)」をご覧ください。 [参照 10,11 ページ](#)

Mac OS X での切替方法については「補足 無線ネットワークの変更方法 (Mac OS X)」をご覧ください。

[参照 12 ページ](#)

各メーカーの提供するソフトウェアを用いた切替方法については、メーカーの提供する取扱説明書等をご参照ください。



無線ネットワークの変更方法 (XP,Vista)

無線ネットワークの接続切換方法は、お使いのコンピューターによって異なります。ここでは、Windows XP および Windows Vista 標準の切換方法について説明しています。各メーカーの提供するソフトウェアを用いた切換方法については、メーカーの提供する取扱説明書等をご参照ください。

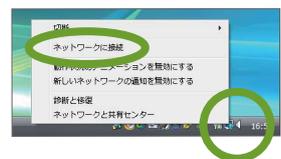
■ Windows XP のネットワーク接続機能を使った SSID の変更方法

- 1 タスクバーに表示されているアイコンをダブルクリックします
アイコンが表示されていない場合は、コントロールパネルから「ネットワーク接続」を開き、「ワイヤレスネットワーク接続」をダブルクリックすると同様の画面が表示されます。
- 2 表示された画面右下の「ワイヤレスネットワークの表示」ボタンをクリックします
- 3 表示されたリストの中から接続したい SSID を選択し、接続してください



■ Windows Vista のネットワーク接続機能を使った SSID の変更方法

- 1 タスクバーに表示されているアイコンをクリックし、表示されるメニューで「ネットワークに接続」を選択します
アイコンが表示されていない場合は、コントロールパネルから「ネットワークとインターネット」を選択し、「ネットワークと共有センター」から「ネットワークに接続」を選択すると同様の画面が表示されます。
- 2 表示されたリストの中から接続したい SSID を選択し、接続してください





無線ネットワークの変更方法 (Windows 7,8)

無線ネットワークの接続切換方法は、お使いのコンピューターによって異なります。ここでは、Windows 7 標準の切換方法について説明しています。各メーカーの提供するソフトウェアを用いた切換方法については、メーカーの提供する取扱説明書等をご参照ください。

■ Windows 7 のネットワーク接続機能を使った SSID の変更方法

1 タスクバーに表示されているアイコンをクリックします

アイコンが表示されていない場合は、コントロールパネルから「ネットワークとインターネット」を選択し、「ネットワークと共有センター」から「ネットワークに接続」を選択すると同様の画面が表示されます。



2 表示されたリストの中から接続したい SSID を選択し、接続してください



■ Windows 8 のネットワーク接続機能を使った SSID の変更方法

1 スタート画面でチャームを表示し、「設定」を選択します

タッチパネルで操作する場合は、画面右端から左方向にスワイプするとチャームが表示されます。
マウスで操作する場合は、画面右上または右下にマウスカーソルを合わせるとチャームが表示されます。

2 ネットワークのアイコンを選択します

Wi-Fi (無線ネットワーク) が一覧表示されます。

3 表示された Wi-Fi (無線ネットワーク) のリストの中から接続したい SSID を選択し、接続してください





無線ネットワークの変更方法 (Mac OS X)

無線ネットワークの接続切替方法は、お使いのコンピューターによって異なります。
ここでは、Mac OS X 標準の切替方法について説明しています。

■ Mac OS X の Wi-Fi (AirMac) を使った SSID の変更方法

- 1 メニューバーに表示されているアイコンをクリックします

アイコンが表示されていない場合は、アプリケーション > システム環境設定を開き、「ネットワーク」を選択します。表示される画面で Wi-Fi (AirMac) の設定画面を開き、「メニューバーに Wi-Fi (AirMac) の状況を表示」のチェックボックスにチェックを入れると、メニューバーにアイコンが表示されます。



- 2 表示されるリストの中から接続したい SSID を選択して、接続します

接続したい SSID が表示されない場合は、「ほかのネットワークに接続」を選択し、表示される画面でネットワークを指定して接続してください。





wivia ソフトウェアを準備する (Windows) -1

ここでは、Windows で wivia をご使用の場合について説明しています。Mac OS X をご使用の場合には、「wivia ソフトウェアを準備する (Mac OS X)」をご覧ください。 [参照 15 ページ](#)

■ USB トークンから使う場合

ソフトウェアをインストールして使う方法もあります。 [参照 14 ページ](#)

1 USB トークンを PC に挿します

無線 LAN を wivia 本体に接続した後で行ってください。 [参照 9 ページ](#)



2 Start Plug and Show を実行します

右のような画面が表示されない場合は、USB トークン内の wivia.exe ファイルを直接実行してください。

※ Windows 7 の場合、USB メモリの自動再生機能は標準で無効になっています。USB トークン内の wivia.exe ファイルを直接実行してください。



※ 画面は Windows Vista のものです。

3 wivia ソフトウェアが起動し、画面名がリスト表示されます

投影したい画面が見つからない場合は、「リスト更新」ボタンで画面を再検索してください。

それでも解決しない場合は、再度ネットワークの接続を確認してください。





wivia ソフトウェアを準備する (Windows) -2

ここでは、Windows で wivia をご使用の場合について説明しています。

Mac OS X をご使用の場合には、「wivia ソフトウェアを準備する (Mac OS X)」をご覧ください。

参照 15 ページ

■ インストールして使う場合

全ての wivia ソフトウェアは、wivia サポート Web サイト

(ダウンロードページ) <http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html> で配布しています。

USB トークンから使う場合は、ダウンロード、インストールの必要はありません。

参照 13 ページ

1 wivia サポート Web サイト (ダウンロードページ)

<http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html> にアクセスし、wivia ソフトウェア (Windows 版) をダウンロードします

2 ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、表示される手順にしたがってインストールを実行します



3 インストールが完了後、デスクトップの wivia アイコンをダブルクリックして起動します



4 wivia ソフトウェアが起動し、画面名がリスト表示されます

投影画面が見つからない場合は、「リスト更新」ボタンで画面を再検索してください。それでも解決しない場合は、再度ネットワークの接続を確認してください。





wivia ソフトウェアを準備する (Mac OS X)

ここでは、Mac OS X で wivia をご使用の場合について説明しています。Windows をご使用の場合には、「wivia ソフトウェアを準備する (Windows)」をご覧ください。 [参照 13,14 ページ](#)

- 1 wivia サポート Web サイト (ダウンロードページ)
<http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html> にアクセスし、wivia ソフトウェア (Mac OS X 版) をダウンロードします

- 2 ダウンロードしたディスクイメージファイルをダブルクリックして開きます



wivia_MacOSX_2100.dmg

- 3 wivia.app と Token.app 両方を任意のフォルダにコピーします

Token.app は、起動 USB の作成を行うためのアプリケーションです。wivia.app と同じ階層のフォルダにないと、起動 USB の作成ができませんのでご注意ください。 [参照 31 ページ](#)



wivia.app



Token.app

- 4 コピーした wivia.app をダブルクリックすると、wivia ソフトウェアが起動し、利用可能な wivia 本体の画面名がリスト表示されます



システム環境設定でセキュリティのファイアウォールを有効にしている場合、wivia の受信接続を許可する設定が必要です。「必須サービスのみ許可」に設定している場合、wivia を使用することができません。

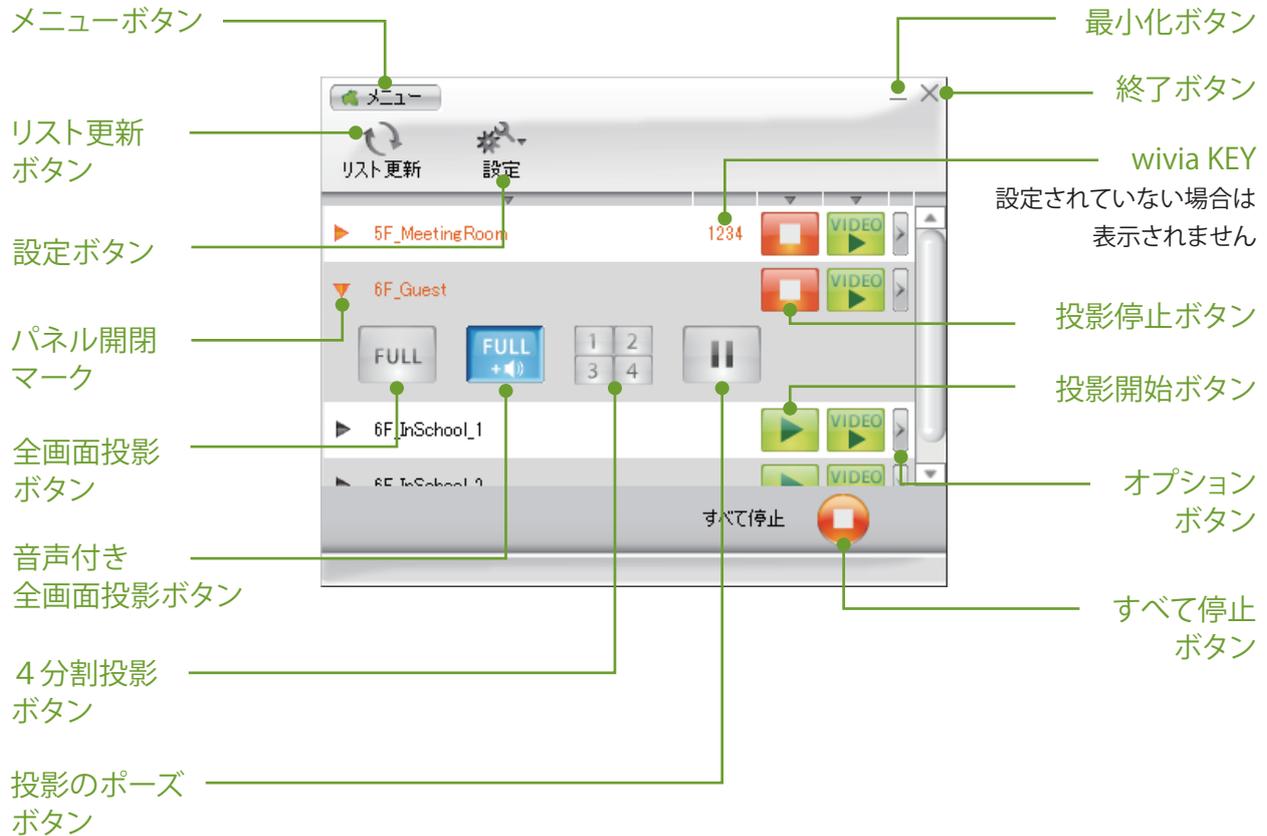
Mac OS X 10.5 ではバージョンによって、起動時に画面解像度の変更を許可した場合に画面が正しく表示されないことがあります。バージョンを 10.5.8 以降にアップデートしてから使用してください。

3 wivia ソフトウェアの使い方

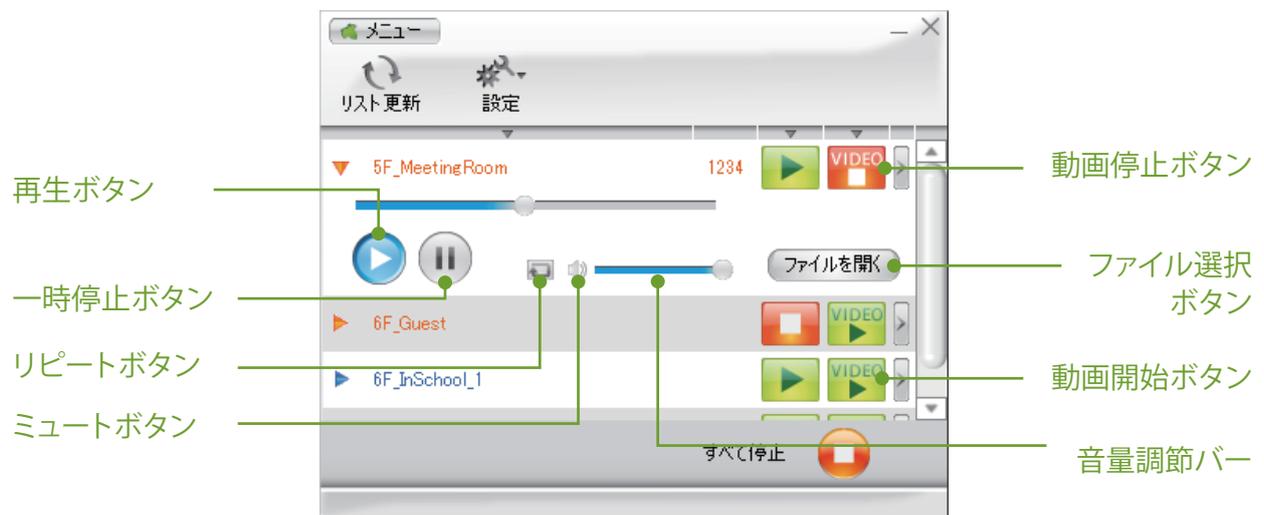


ソフトウェア画面の説明 -1

■ 投影操作時



■ 動画再生時





ソフトウェア画面の説明 -2

■ 投影画面検索時



検索のキャンセル
ボタン

投影 -1

■ 投影する（映像のみ）

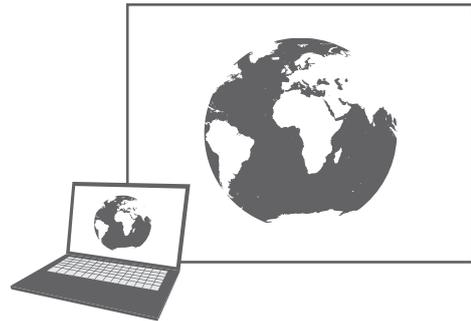
- 1 投影したい画面の「投影開始ボタン」をクリックします



画面に wivia KEY が設定されている場合、入力画面が表示されます。その場合には、待機画面左下に表示されている wivia KEY を入力してください。



- 2 PC 画面が表示機器に投影されます



■ 投影をやめる

- 1 停止したい画面の「投影停止ボタン」をクリックします
- 2 投影が停止します



投影 -2

■ 投影する（映像と音声、Windows のみ）

音声付きの画面投影は、Windows 用 wivia ソフトウェアのみの機能です。

また、Windows XP をお使いの場合、本機能をご利用になるには、wivia ソフトウェアに加え、wivia 音声転送ソフトウェアのインストールが必要です。

wivia 音声転送ソフトウェアは、wivia サポート Web サイト（ダウンロードページ）
<http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html> から入手してください。

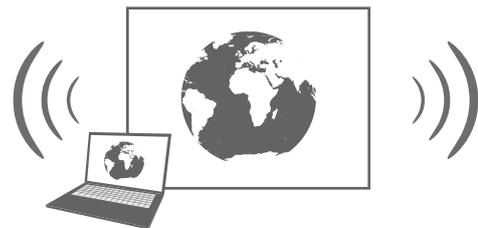
- 1 音声付きの画面投影をしたい画面の「パネル開閉マーク」または画面名をクリックして、操作パネルを開きます



- 2 表示された音声付き全画面投影ボタンをクリックします



- 3 PC 画面が表示機器に投影されます。
同時に wivia 本体に接続しているスピーカーから PC で再生している音声再生されます

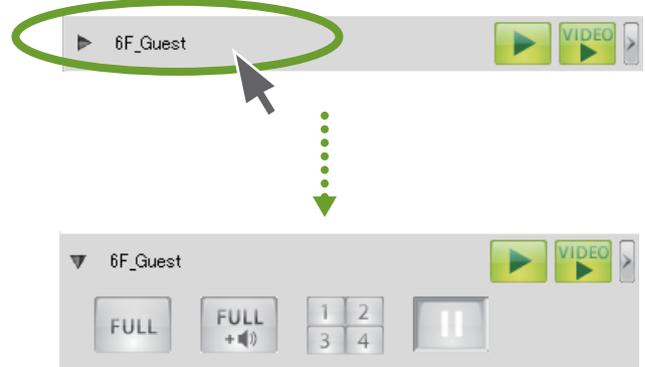




投影 -3

■ 4分割投影する

- 1 4分割投影したい画面の「パネル開閉マーク」または画面名をクリックして、操作パネルを開きます



- 2 表示された4分割投影ボタンで、投影したい箇所を選択します



- 3 選択した箇所に PC 画面が投影されます



■ 投影をポーズさせる

- 1 操作パネルの「投影のポーズボタン」をクリックします



- 2 投影画面がポーズします

投影画面を静止させたままで、手元の PC 画面を操作することができます。



- 3 「全画面投影ボタン」、「音声付き全画面投影ボタン」または「4分割投影ボタン」をクリックすると、投影が再開されます



動画

■ 動画を再生する

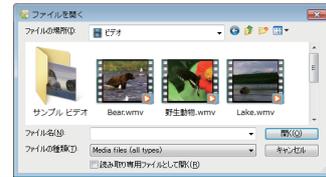
- 1 動画を再生したい画面の「動画開始ボタン」をクリックします



- 2 表示された画面から、再生したい動画ファイルを選択します

サポートされるファイル形式は、WMV、MPG、MPEG、DIVX、AVI、MOVです。ただし、動画コーデック、音声コーデックによって再生できないものもあります。

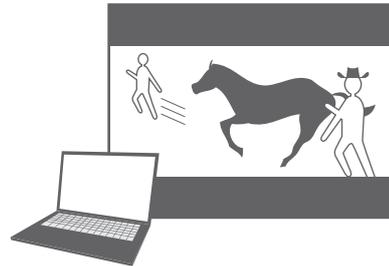
参照 23 ページ



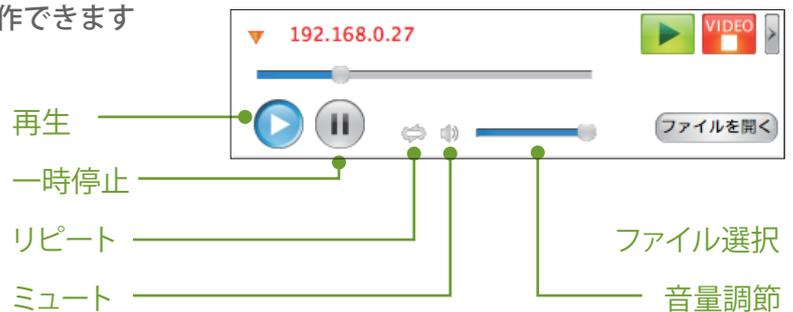
※画面は Windows 7 のファイル選択ダイアログです。

- 3 選択したファイルが再生されます

動画は投影画面にのみ表示されます。手元の PC 画面には表示されません。



- 4 表示される操作パネルで動画を操作できます



- 5 動画再生を途中でやめたい場合には、「動画停止ボタン」をクリックします





対応動画形式一覧

以下の形式は、弊社テスト環境での動作確認済みです。

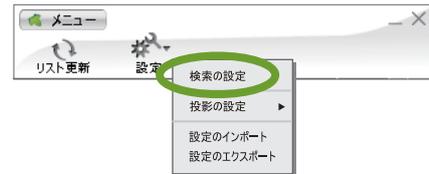
ファイル形式	Windows Media Video (WMV) MPEG DivX AVI MOV
動画コーデック	Microsoft MPEG-4 Video V3 Windows Media Video 9 MPEG-1 Video MPEG-2 Video DivX Video (DivX 6.7) XviD Mpeg-4 Video (XviD 1.1.0) H.264
音声コーデック	Windows Media Audio 9.2 以前 MPEG-1 Layer-2 Audio (mp2) MPEG-1 Layer-3 Audio (mp3)

設定 -1

■ 検索対象のネットワークを追加する

通常の検索で見えない場合に、wivia 本体の IP アドレスを指定することで検索対象に追加することができます。検索対象のネットワークを追加すると、通常より検索に時間がかかることがあります。予めご了承ください。

- 1 「設定ボタン」をクリックし、表示されるメニューから「検索の設定」を選択します



※ 画面は Windows のものです。

- 2 表示された画面で、「指定した IP アドレスのデバイスを検索する」にチェックを入れます

- 3 追加したい IP アドレスを入力します
ブロードキャストでの検索はできません。

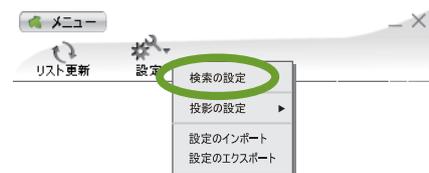
- 4  ボタンをクリックします

- 5 指定した IP アドレスが、検索対象に登録されます



■ 検索対象のネットワークを削除する

- 1 「設定ボタン」をクリックし、表示されるメニューから「検索の設定」を選択します



※ 画面は Windows のものです。

- 2 表示された画面で、「登録済みの検索先」から削除したいアドレスを選択します

- 3  ボタンをクリックします

- 4 選択した IP アドレスが、検索対象から削除されます





設定 -2

■ 投影モード（DirectX 設定）を変更する（Windows のみ）

投影モードの変更は、Windows 用 wivia ソフトウェアのみの機能です。

通常は、初期設定の「通常転送モード」でご利用ください。下記の「DirectX 表示モード」への変更は、CAD ソフトウェアなどの高度なグラフィックス機能を使用するアプリケーションを投影する場合にご利用ください。その場合には、画面描画が通常転送モードに比べて遅くなり、お使いのコンピュータのパフォーマンスに影響を与えることがありますので、予めご了承ください。

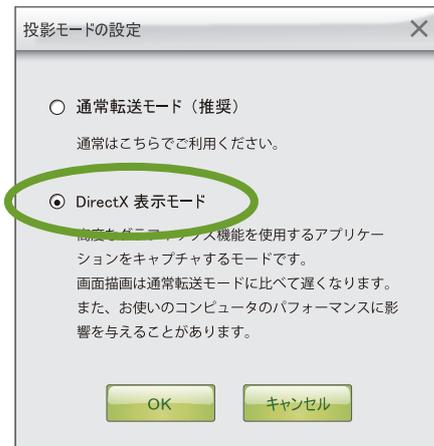
- 1 「設定ボタン」をクリックし、表示されるメニューから「投影の設定」を選択します。さらに、サブメニューから「投影モード」を選択します



※ 画面は Windows のものです。

- 2 表示された画面で、「DirectX 表示モード」を選択します

- 3 「OK」ボタンをクリックします



※ 画面は Windows のものです。

- 4 wivia ソフトウェアの再起動を確認する画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックします

- 5 wivia ソフトウェアが再起動し、投影モードが変更されます

DirectX 表示モードの必要がなくなりましたら、「通常転送モード」に戻してご利用ください。

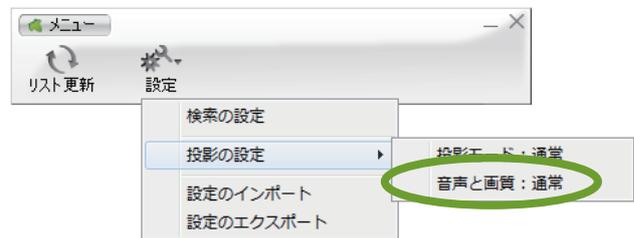
設定 -3

■ 音声と画質の設定を変更する

画面投影時の投影方法を変更することができます。

画面投影時と同時に音声を再生する機能を利用する場合や、より高画質な画面投影を実現する場合に、本設定を利用します。画面投影と同時に音声を再生する機能は、Windows 版でのみ利用可能です。Windows XP をご利用の場合、wivia ソフトウェアに加え、wivia 音声転送ソフトウェアのインストールが必要です。wivia 音声転送ソフトウェアは、wivia サポート Web サイト（ダウンロードページ）<http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html> から入手してください。

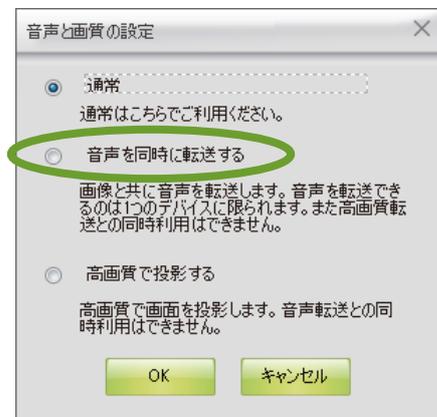
- 1 「設定ボタン」をクリックし、表示されるメニューから「投影の設定」を選択します。さらに、サブメニューから「音声と画質」を選択します



※ 画面は Windows のものです。

- 2 音声と画質の設定画面が表示されます。利用する設定を選択します

画面投影と同時に音声を再生する場合は、「音声と同時に転送する」を選択します。投影画面を高画質にする場合は、「高画質で投影する」を選択します。



※ 画面は Windows のものです。

- 3 「OK」 ボタンをクリックします
- 4 音声と画質の設定画面が閉じ、設定が変更されます

設定 -4

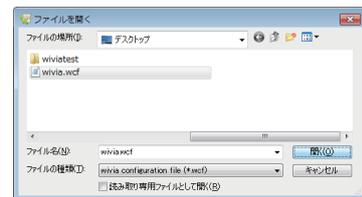
■ 設定情報をインポートする

検索の設定や投影の設定などの設定情報を設定ファイルから読み込んで反映させることができます。

- 1 「設定ボタン」をクリックし、表示されるメニューから「設定のインポート」を選択します
- 2 表示された画面から、インポートしたいwiviaの設定ファイル（WCFファイル）を選択します
- 3 設定ファイルの情報がインポートされます
設定のインポートにより投影モードが変更された場合は、wiviaソフトウェアの再起動が必要になります。



※ 画面は Windows のものです。

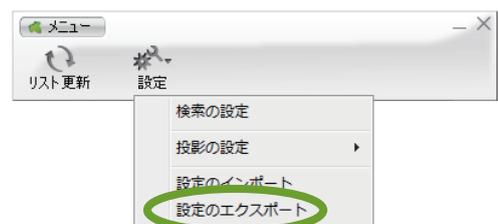


※ 画面は Windows 7 のファイル選択ダイアログです。

■ 設定情報をエクスポートする

検索の設定や投影の設定などの設定情報を設定ファイルに書き出すことができます。

- 1 「設定ボタン」をクリックし、表示されるメニューから「設定のエクスポート」を選択します
- 2 表示された画面で、設定ファイルを書き出すフォルダとファイル名を指定します
- 3 指定されたフォルダに設定ファイルが書き出されます



※ 画面は Windows のものです。



※ 画面は Windows 7 のファイル選択ダイアログです。



その他 -1

■ 投影画面を再検索する

投影したい画面のネットワークに接続した状態で、wivia ソフトウェアから画面名が見つからない場合には、下記の手順で投影画面を再検索してください。

- 1 「リスト更新ボタン」をクリックします



- 2 投影画面の検索が開始され、画面リストが更新されます

検索のキャンセルボタンをクリックすると、検索が中止され、元の状態に戻ります。



■ すべての投影を停止する

下記の手順で、複数画面への投影を一括で停止することができます。

- 1 「すべて停止ボタン」をクリックします



- 2 現在投影中の画面すべてへの投影および動画再生が停止されます



その他 -2

■ Web 管理画面を表示する

Web 管理画面では、wivia 本体の設定変更やカンファレンスコントロール機能の利用ができます。

下記の方法で wivia ソフトウェアから Web 管理画面に移動してください。

参照 30 ページ

- 1 画面リストから、管理画面を表示したいデバイスを選び、「オプションボタン」をクリックします



- 2 表示されるメニューから「Web 管理画面表示」を選択します



- 3 お使いの PC の Web ブラウザが自動的に起動し、wivia の Web 管理画面が表示されます



■ wivia 本体の IP アドレスを確認する

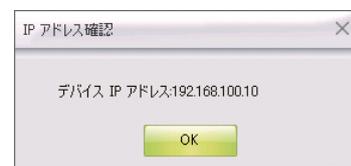
- 1 画面リストから、IP アドレスを確認したいデバイスを選び、「オプションボタン」をクリックします



- 2 表示されるメニューから「IP アドレス表示」を選択します



- 3 IP アドレスの確認画面が表示されます





その他 -3

■ カンファレンスコントロールに参加する

カンファレンスコントロールは、司会者が Web 管理画面から参加者の PC 画面の投影を操作することができる機能です。

参照 37 ページ

カンファレンスコントロールが実施されている間は、wivia ソフトウェアからその画面への投影はできなくなります。wivia ソフトウェアからカンファレンスコントロールに参加する手順は下記の通りです。

- 1 画面リストから、カンファレンスコントロールが実施されているデバイスを選び、「オプションボタン」をクリックします



- 2 表示されるメニューから「カンファレンスコントロール」を選択します

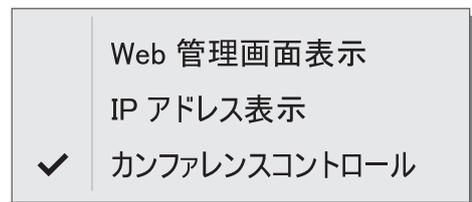


- 3 「カンファレンスコントロール」メニューにチェックが入り、司会者がお使いの PC 画面の投影を操作できるようになります

すでにチェックが入っている場合は、そのまま司会者から投影を操作できます。

カンファレンスコントロールを抜きたい場合は、再度メニューをクリックして、チェックを外してください。

wivia KEY が設定されている場合には、入力画面が表示されることがあります。





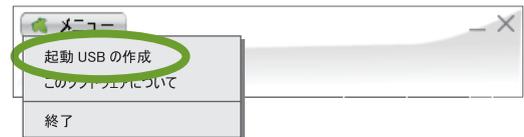
その他 -4

■ 起動 USB を作成する

付属の USB トークンと同様の機能（wivia ソフトウェアを PC にインストールせずに USB から起動することができる）を持った起動 USB を、お手持ちの USB メモリーを用いて作成することができます。

付属の USB トークンに入っているソフトウェアは Windows 用ですが、Mac OS X 用 wivia ソフトウェアから起動 USB を作成すると、Mac OS X 用のソフトウェアが USB メモリーに書き込まれます。

- 1 「メニューボタン」をクリックし、表示されたメニューから「起動 USB の作成」を選択します



- 2 表示される画面の指示に従って、起動 USB を作成します

お手持ちの USB メモリーに wivia ソフトウェアのプログラム関連ファイルを書き込みます。
ファイル容量は Windows 用、Mac OS X 用ともに約 12MB です。プログラム書き込み後も、残りの容量分は通常の USB メモリーとしてご利用が可能です。

起動 USB から起動した wivia ソフトウェアからは、起動 USB の作成はできません。

また、Mac OS X でインストールした wivia ソフトウェアから起動 USB の作成ができない場合は、Token.app（起動 USB 作成用のアプリケーション）がインストールされていない可能性があります。wivia.app と同じディレクトリに Token.app をインストールしてください。

[参照 15 ページ](#)



※ 画面は Windows Vista のものです。

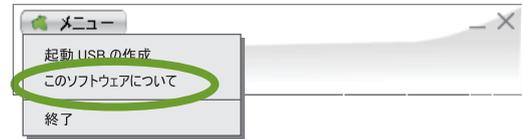
Mac OS X で作成した起動 USB を使うには、起動 USB を Mac に接続後、USB ドライブにアクセスし、wivia.app を実行してください。



その他 -5

■ ソフトウェアのバージョンを確認する

- 1 「メニューボタン」をクリックし、表示されたメニューから「このソフトウェアについて」を選択します
- 2 表示される画面でソフトウェアのバージョンを確認します



※画面は Windows のものです。

4 Web 管理画面の使い方



wivia Snaps-1

■ wivia Snaps を開始する

- 1 Web 管理画面を表示します 参照 29 ページ
- 2 「wivia Snaps」 ボタンをクリックします

ユーザー ID、パスワードの入力は必要ありません。
wivia Snaps ボタンが表示されていない場合は、wivia Snaps が無効に設定されています。wivia Snaps を利用するには、Web 管理画面で wivia Snaps 設定を有効に変更してください。

参照 46 ページ

- 3 wivia Snaps 画面が表示されます

wivia が投影状態の場合は、投影中の画面が表示されます。
wivia が待機状態の場合は、「Ready」と表示されます。

■ wivia Snaps の対応環境について

wivia Snaps は、下記の環境で動作確認をしています。

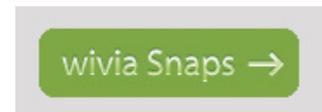
OS	ブラウザ
Windows 8	Internet Explorer 10 Google Chrome Mozilla Firefox
Windows 7 Windows Vista Windows XP	Internet Explorer 9 ※ Windows XP では Internet Explorer 8 Google Chrome Mozilla Firefox
Mac OS X 10.8 Mac OS X 10.7 Mac OS X 10.6 Mac OS X 10.5	Safari Google Chrome
iOS 6 iOS 5	Safari
Android 4.0 Android 3.2 Android 2.3	ブラウザ

2013年2月現在の情報です。

※一部の機能は、wivia Snaps に対応していません。

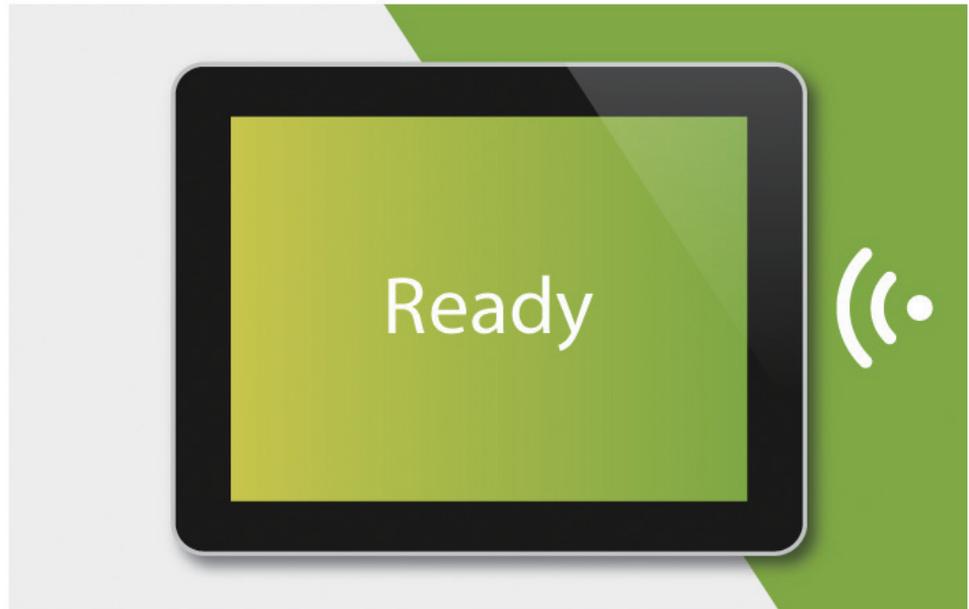
対応していない機能の使用中は、wivia Snaps では「Ready」画面が表示されます。

wivia Snaps の動作には、投影元で wivia ソフトウェア 2.1.0.0 以降を使用する必要があります。これ以前のバージョンのソフトウェアからの投影中には、wivia Snaps は正しく動作しません。最新の wivia ソフトウェアは、wivia サポート Web サイト（ダウンロードページ）<http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html> から入手してください。



wivia Snaps-2

■ wivia Snaps 画面の説明



- 原寸表示ボタン
- 表示領域に合わせて表示ボタン
- 画面を更新ボタン
- 自動更新間隔選択ボタン

原寸表示

画面を原寸大で表示します。

表示領域に合わせて表示

画面をブラウザの表示領域に合わせて拡大または縮小して表示します。

画面を更新

画面を手動で更新します。

wivia Snaps 画面は、約 5 秒間隔で更新されますので、5 秒以上の間隔を空けて操作してください。

自動更新間隔選択

画面を自動で更新する間隔を、手動で更新（自動更新しない）、10 秒、15 秒、20 秒、30 秒の中から選択します。



ログイン

1 Web 管理画面を表示します

参照 29 ページ

2 ユーザー ID、パスワードを入力します

ログインユーザーに応じたメニューが表示されます。ユーザーについては、下表を参照してください。



■ ユーザーについて

Web 管理画面には 2 つのユーザーが用意されています。

○ カンファレンスコントロールユーザー

カンファレンスコントロールを行うことができます。参照 37 ページ

○ システム管理ユーザー

システム管理機能をはじめとした全ての機能を利用できます。参照 38 ページ

ユーザー	初期ユーザー ID	初期パスワード
カンファレンスコントロール	operator	operator
システム管理	root	root



カンファレンスコントロール

- 1 カンファレンスコントロールユーザー（またはシステム管理ユーザー）でログインします

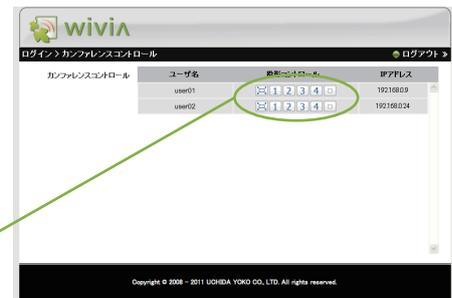
参照 36 ページ

画面に wivia KEY が設定されている場合、入力画面が表示されます。その場合には、待機画面左下に表示されている wivia KEY を入力してください。



- 2 投影コントロールを行います

操作したいコンピューターの「投影コントロール」を操作します。（表示されている「ユーザー名」はコンピューターのログインユーザー名です）



- 3 ログアウトします

カンファレンスコントロールを終了する場合は、必ずログアウトしてください。

参照 52 ページ

- コントロールしたいコンピューターが表示されない場合

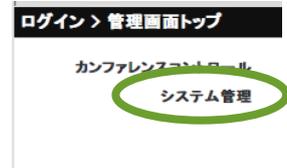
コントロールしたいコンピューターの wivia ソフトウェアからカンファレンスコントロールに参加する必要があります。

参照 30 ページ



システム管理 -1

システム管理ユーザーでログインし、「システム管理」メニューを選択してから行ってください。 参照 36 ページ



■ システム状態を確認する

1 左のメニューから「システム状態」を選択します

2 現在のシステム状態が表示されます



○ システム状態の説明

□ モデル名

wivia 本体のモデル名

□ バージョン

ファームウェアのバージョン

□ ネットワーク状態

IP アドレス：wivia 本体の IP アドレス

サブネットマスク：wivia 本体のサブネットマスク

デフォルトゲートウェイ：wivia 本体のデフォルトゲートウェイ

無線 MAC アドレス：wivia 本体の無線 MAC アドレス

MAC アドレス：wivia 本体の有線 MAC アドレス

□ 接続状態

投影状態：投影待ちもしくは投影中

ユーザー数：wivia 本体にログインしているユーザー数

□ 日付と時刻

日付：wivia 本体に設定されている現在の日付

時刻：wivia 本体に設定されている現在の時刻

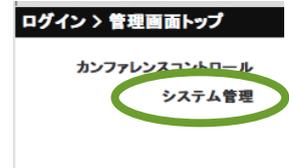
タイムゾーン：wivia 本体に設定されているタイムゾーン

システム状態		モデル名	WA-B5F-2
ネットワーク設定	IP アドレス	10.0.0.1	
設定設定	ファームウェアバージョン	2.0.0.0	
ユーザー設定	接続状態	接続済み	
接続前設定	IP アドレス	10.0.0.1	
wivia Snaps 設定	サブネットマスク	255.255.255.0	
出荷時状態に返す	デフォルトゲートウェイ	10.0.0.254	
ファームウェアのアップグレード	無線 MAC アドレス	00:12:3F:0A:A0:00	
	有線 MAC アドレス	00:12:3F:0A:00:00	
システム再起動	接続状態	接続済み	
	ユーザー数	0	
	日付	---	
	時刻	---	
	タイムゾーン	---	



システム管理 -2

システム管理ユーザーでログインし、「システム管理」メニューを選択してから行ってください。 [参照 36 ページ](#)



■ ネットワークの設定を変更する

ネットワーク設定を変更すると、Web 管理画面にアクセスできなくなることがあります。その場合は設定した内容で再度接続し直してください。Web 管理画面にアクセスできなくなり、設定内容を元に戻したい場合は、wivia 本体のリセットボタンで設定を初期化することも可能です。 [参照 47 ページ](#)

1 左のメニューから「ネットワーク設定」を選択します

2 必要な設定を行います

詳しい設定については、下記「設定項目の説明」をご覧ください。

3 「適用」ボタンをクリックします

選んだ設定をキャンセルするには、「キャンセル」ボタンをクリックします。

4 システムを再起動すると、設定が適用されます

[参照 50 ページ](#)



○ 設定項目の説明

□ IP の設定

「IP アドレスの自動取得」もしくは「以下の IP アドレスを利用する」を選択します。

「以下の IP アドレスを利用する」を選択した場合には、適切な値を設定してください。

初期設定は「IP アドレスの自動取得」です。wivia 本体がすでに DHCP サーバのあるネットワークに接続されている場合は、サーバから IP アドレスを振り分けられます。接続されていない場合は、以下の初期値が設定されます。

IP アドレス : 192.168.100.10
 サブネットマスク : 255.255.255.0
 デフォルトゲートウェイ : 192.168.100.10
 DNS サーバ : 192.168.100.10



システム管理 -3

■ ネットワークの設定を変更する（つづき）

○ 設定項目の説明（つづき）

□ DHCP サーバーの設定

「自動」もしくは「無効」を選択します。初期値は「自動」です。適切な値を設定してください。

開始 IP アドレス	: wivia 本体の DHCP サーバーが配布する最初の IP アドレス
終了 IP アドレス	: wivia 本体の DHCP サーバーが配布する最後の IP アドレス
サブネットマスク	: wivia 本体の DHCP サーバーが提示するサブネットマスク
デフォルトゲートウェイ	: クライアントに割り当てるゲートウェイの IP アドレス
DNS サーバー	: DNS サーバーの IP アドレス

□ 無線の設定

無線 LAN	: 「有効」もしくは「無効」を選択します。
地域	: 初期値 WORLDWIDE（通常変更の必要はありません）
SSID	: 「wivia」から始まる半角英数字（最大文字列数 32 文字）
SSID ブロードキャスト	: 「有効」もしくは「無効」を選択します。
チャンネル	: ドロップダウンリストから「Auto」または固定のチャンネルを選択します。 「Auto」の場合は、wivia 本体の起動時にチャンネルを自動的に選択します。
セキュリティ	: 使用する暗号化方式を選択します。
キー	: 暗号化を利用する場合は、選択した暗号化方式に合わせてキーを設定する必要があります。

□ 日付と時刻の設定

「SNTP/NTP サーバーと同期」もしくは「無効」を選択します。初期値は「無効」です。SNTP/NTP サーバーと同期することで、時刻に基づいた端末のリフレッシュ（再起動）が利用できるようになります。

サーバー	: SNTP/NTP サーバーの URL
最終同期時刻	: SNTP/NTP サーバーとの同期時刻
タイムゾーン	: 設定するタイムゾーンを選択します。
日付	: wivia 本体に現在設定されている日付
時刻	: wivia 本体に現在設定されている時刻

※ 日付と時刻の設定が「無効」の場合、最終同期時刻、日付、時刻は表示されません。



システム管理 -4

■ ネットワークの設定を変更する（つづき）

○ 設定項目の説明（つづき）

□ ポートの開放

ポートの開放設定を適用することで、wivia 本体経由で無線 LAN 通信を利用したすべてのユーザーに対して、ネットワークセキュリティを保持することができます。

全て開放 : ユーザーによるすべてのネットワークアクセスを許可します。

全て遮断 : ユーザーによるすべてのネットワークアクセスをブロックします。

インターネットのみ : ユーザーによるすべてのネットワークアクセスをブロックしますが、インターネットへのアクセスは可能にします。

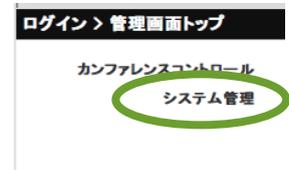
□ この wivia を経由した他の wivia の発見

「有効」もしくは「無効」を選択します。初期値は「有効」です。



システム管理 -5

システム管理ユーザーでログインし、「システム管理」メニューを選択してから行ってください。[\(参照 36 ページ\)](#)



■ 投影画面の設定を変更する

1 左のメニューから「投影設定」を選択します

2 「投影設定」で必要な設定を行います
詳しい設定については、下記「設定項目の説明」をご覧ください。

3 「適用」ボタンをクリックします
選んだ設定をキャンセルするには、「キャンセル」ボタンをクリックします。

4 システムを再起動すると、設定が適用されます

[\(参照 50 ページ\)](#)



○ 設定項目の説明

□ 投影設定

画面名 : 投影画面に任意の名前をつけることができます。(半角英数字 最大 16 文字)
初期値は IP アドレスです。

画面の解像度 : 「SVGA (800 × 600)」、「XGA (1024 × 768)」、「HDTV (1280 × 720)」、「WXGA (1280 × 768)」、「WXGA (1280 × 800)」、「SXGA (1280 × 1024)」、「FWXGA (1360 × 768)」の中から選択します。

画面の色 : wivia 本体の出力について「Normal (16bit)」もしくは「High (32bit)」から選択します。

wivia KEY : 「無効」、「ランダム」もしくは「指定」の中から選択します。
パスワードの設定は任意の数字 4 文字を入力します。

□ 端末のリフレッシュ (再起動)

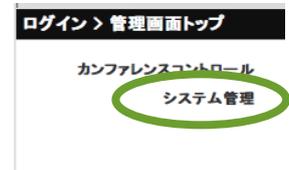
「自動」もしくは「時刻で設定」を選択します。初期値は「時刻で設定」です。「時刻で設定」を選択するには、予め「日付と時刻の設定」を「SNTP/NTP サーバーと同期」に設定する必要があります。

時刻 : リフレッシュ (再起動) を行う時刻を設定します。



システム管理 -6

システム管理ユーザーでログインし、「システム管理」メニューを選択してから行ってください。 [参照 36 ページ](#)



■ システムログの設定をする

1 左のメニューから「投影設定」を選択します

2 「Syslog 設定」で必要な設定を行います

詳しい設定については、下記「設定項目の説明」をご覧ください。

3 「適用」 ボタンをクリックします

選んだ設定をキャンセルするには、「キャンセル」 ボタンをクリックします。

4 システムを再起動すると、設定が適用されます

[参照 50 ページ](#)



○ 設定項目の説明

□ Syslog 設定

wivia では別途用意したサーバーに対して、システムログを転送することができます。wivia 本体にはログは保存されません。「有効」もしくは「無効」を選択します。初期値は「無効」です。

転送先 IP アドレス : システムログ転送先の IP アドレスを入力します。

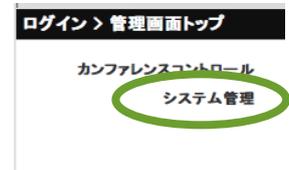
アクセスログ : アクセスログを転送することができます。
「有効」もしくは「無効」を選択します。初期値は「有効」です。

エラーログ : エラーログを転送することができます。
「有効」もしくは「無効」を選択します。初期値は「有効」です。



システム管理 -7

システム管理ユーザーでログインし、「システム管理」メニューを選択してから行ってください。 [参照 36 ページ](#)



■ ユーザー名とパスワードを変更する

パスワードを忘れてしまったり、誤った設定をしてしまいログインできなくなった場合には、wivia 本体のリセットボタンで設定を初期化して、再度各設定を行ってください。 [参照 47 ページ](#)

1 左のメニューから「ユーザー設定」を選択します



2 必要な設定を行います

詳しい設定については、下記「設定項目の説明」をご覧ください。

3 変更した項目の「適用」ボタンをクリックします



○ 設定項目の説明

□ ユーザー名

カンファレンスコントロールユーザー、システム管理ユーザーのユーザー名を変更することができます。

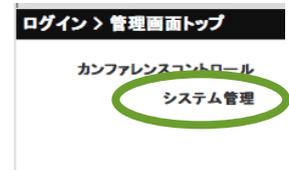
□ パスワード

カンファレンスコントロールユーザー、システム管理ユーザーのパスワードを変更することができます。



システム管理 -8

システム管理ユーザーでログインし、「システム管理」メニューを選択してから行ってください。 [参照 36 ページ](#)



■ 待機画面の設定を変更する

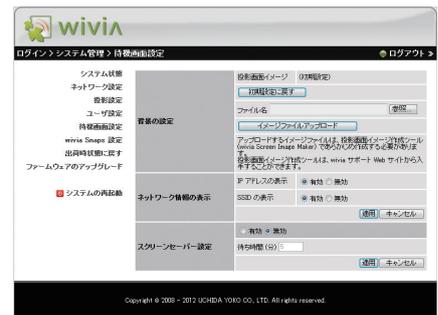
1 左のメニューから「待機画面設定」を選択します

2 必要な設定を行います

詳しい設定については、下記「設定項目の説明」をご覧ください。

3 システムを再起動すると、設定が適用されます

[参照 50 ページ](#)



○ 設定項目の説明

□ 背景の設定

待機画面の背景画像を変更することができます。次の手順に従って実行します。

1. 「参照」ボタンをクリックし、変更したい投影画面イメージファイル（IB ファイル）を選択します。
2. 「イメージファイルアップロード」ボタンをクリックします。
3. システムの再起動を行います。

[参照 51 ページ](#)

初期設定の背景に戻すには、「初期設定に戻す」ボタンをクリックして、システムの再起動を行います。

□ ネットワーク情報の表示

IP アドレスの表示 : 待機画面への IP アドレスの表示 / 非表示を設定します。
「有効」もしくは「無効」を選択します。初期値は「有効」です。

SSID の表示 : 待機画面への SSID の表示 / 非表示を設定します。
「有効」もしくは「無効」を選択します。初期値は「有効」です。

□ スクリーンセーバー設定

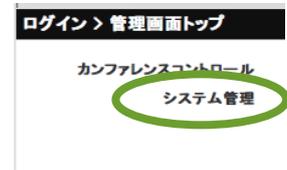
「有効」または「無効」を選択してください。初期値は「無効」です。

待ち時間（分） : スクリーンセーバーが起動するまでの時間を入力します。
設定を反映させるには、適用ボタンをクリックしてください。



システム管理 -9

システム管理ユーザーでログインし、「システム管理」メニューを選択してから行ってください。 [参照 36 ページ](#)



■ wivia Snaps の設定を変更する

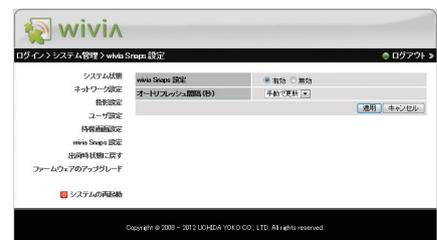
1 左のメニューから「wivia Snaps 設定」を選択します



2 必要な設定を行います

・詳しい設定については、下記「設定項目の説明」をご覧ください。

3 「適用」ボタンをクリックします



4 システムを再起動すると、設定が適用されます

[参照 50 ページ](#)

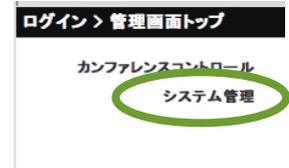
○ 設定項目の説明

- ・ wivia Snaps 設定 : wivia に投影されている画面を、Web ブラウザから画像として閲覧することができます。「有効」もしくは「無効」を選択します。初期値は「無効」です。
- ・ 自動更新間隔 : wivia Snaps の画面を更新する間隔を選択します。「手動で更新」、「10 秒」、「15 秒」、「20 秒」、「30 秒」の中から選択します。初期値は「手動で更新」です。



システム管理 -10

システム管理ユーザーでログインし、「システム管理」メニューを選択してから行ってください。 参照 36 ページ



■ wivia 本体を出荷時状態に戻す

- 1 左のメニューから「出荷時状態に戻す」を選択します
- 2 「適用」ボタンをクリックします
- 3 システムを再起動すると、設定が適用されます

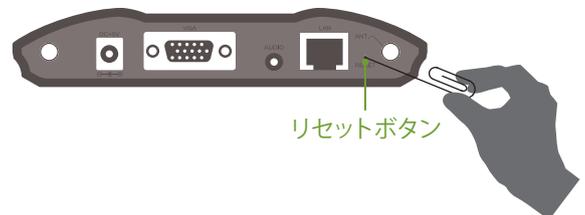
参照 50 ページ

出荷時状態に戻した場合、設定した内容はすべて初期化されます。



○ wivia 本体のリセットボタンで工場出荷時の状態に戻す場合

- 1 wivia 本体のリセットボタンを押しながら、予め電源コンセントに差し込んだ付属の AC アダプタを、wivia 本体背面の電源コネクタに差し込みます
- 2 リセットボタンを押したまま約 10 秒待ち、リセットボタンを離します
- 3 工場出荷時の状態で wivia 本体が起動します



リセットボタン



システム管理 -11

■ ファームウェアをアップグレードする

アップグレードする前に、お使いいただいているファームウェアのバージョンをご確認ください。
(システム管理メニューの「システム状態」から確認することができます) **参照 38 ページ**

1.2.1.0 以前の wivia 本体に、2.0.0.0 以降のファームウェアを適用することはできません。お使いいただいている wivia 本体のバージョンを予めご確認ください。

1 最新のファームウェアイメージファイルを取得します

最新のファームウェアは、wivia サポート Web サイトもしくは弊社より配布されるものをご利用ください。上記以外のものを利用すると、wivia 本体が故障するおそれがあります。この場合、弊社では責任を負いかねますので予めご了承ください。wivia サポート Web (サイトダウンロードページ) <http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html>

2 Web 管理画面にシステム管理ユーザーでログインし、システム管理メニューの「ファームウェアアップグレード」を選択します **参照 36 ページ**

3 「参照」ボタンを押して、1で取得したファイルを指定します

ファームウェアバージョン	2000
リリース日	20110428
「アップグレード」ボタンを押すと、投影が中断されます。	
ファイル名	<input type="text"/> 参照
<input type="button" value="アップグレード"/>	

※ 画面は Internet Explorer のものです。

4 「アップグレード」ボタンを押して、アップグレードを開始します

ファームウェアバージョン	2000
リリース日	20110428
「アップグレード」ボタンを押すと、投影が中断されます。	
ファイル名	<input type="text"/> 参照
<input type="button" value="アップグレード"/>	

5 警告メッセージが表示され、残り時間が画面上でカウントされます

	ファームウェアを更新しています。しばらくお待ちください。 警告: フラッシュメモリーファイルを書き込みため10分程度かかります。作業中にシャットダウンシステムの再起動を絶対に行わないでください。故障の原因となります。
残り時間: 50秒	

アップグレードの進行中に、wivia 本体の電源を絶対に切らないでください。wivia 本体が動作しなくなる可能性があります。アップグレードの進行中には、一時的に待機画面が消え、無線ネットワークの接続も解除されます。アップグレード完了後に自動的に再起動しますので、そのままお待ちください。

6 10分程度で完了メッセージが表示されます

7 wivia 本体が自動的に再起動します

ネットワーク接続が解除された場合には、再度接続してご使用ください。



システム管理 -12

■ アクティベートを行う

2.0.0.0 および 2.0.1.0 から 2.1.0.0 以降のファームウェアにアップグレードした際には、下記のアクティベート操作が必要です。アクティベート操作を完了することで、wivia 2.1.0.0 以降で追加された機能を正しく利用することができます。

- アクティベートの操作は、ファームウェアのアップデートを完了した後に行います。
- アクティベートにかかる費用は無料です。
- アクティベートに際し、インターネットへのアクセスは必要ありません。
- アクティベートを行わないと、他の管理操作は行えません。

1 システム管理ユーザーでログインします 参照 36 ページ

通常の管理画面の代わりに、アクティベートを促す画面が表示されます。



2 「アクティベート」 ボタンをクリックします

3 システムを再起動すると、アクティベートが完了します 参照 50 ページ

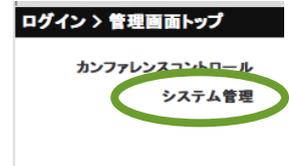
ログイン後にアクティベーション画面が表示されず、通常の管理画面が表示された場合は、アクティベートが完了しています。





システム管理 -13

システム管理ユーザーでログインし、「システム管理」メニューを選択してから行ってください。 参照 36 ページ



■ システムを再起動する

1 左のメニューから「システムの再起動」を選択します



2 表示される画面で、再起動ボタンをクリックします



3 自動的にシステムが再起動します

再起動には、数十秒かかります。表示機器に再び待機画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。
ネットワークが切断された場合には、再起動後にもう一度接続し直してください。





投影画面イメージファイルを作成する

画像ファイルを投影画面イメージファイル（IB ファイル）に変換することで、wivia 待機画面の背景画像として設定することができます。wivia サポート Web サイトのダウンロードページ（<http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html>）から、投影画面イメージ作成ツール「wivia Screen Image Maker」をダウンロードしてください。（投影画面イメージ作成ツールは Windows XP/Windows Vista/Windows 7 のみの対応です）

- 1 背景画像にしたい画像ファイルを用意します

使用できる画像ファイル形式は以下の二種類です。

- ・ JPEG ファイル
- ・ ビットマップファイル



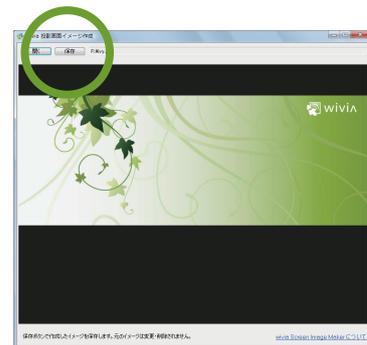
- 2 「wivia Screen Image Maker」を起動します

- 3 左上の「開く」ボタンをクリックし、1 で用意した画像ファイルを選択します

画面中央部分に画像ファイルをドラッグアンドドロップすることもできます。



- 4 プレビューを確認し、「保存」ボタンをクリックして、投影画面イメージファイル（IB ファイル）を保存します。



- 5 Web 管理画面の待機画面の設定から、作成したファイルのアップロードを行います

参照 45 ページ



ログアウト

- 1 Web 管理画面右上の「ログアウト」をクリックします



- 2 ログアウトされ、ログイン画面に戻ります



5 参考



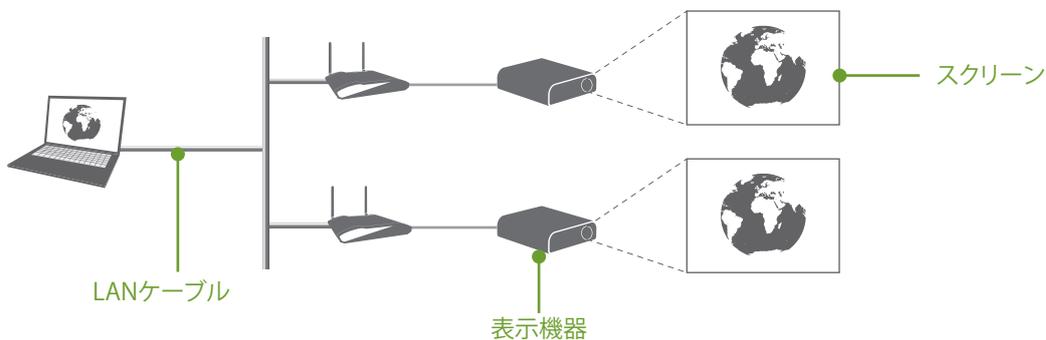
ネットワーク構成方法について -1

wivia 本体は有線 LAN で接続することもできます。複数の wivia 本体を有線 LAN で接続することによって、さまざまなネットワークを構成することができ、マルチスクリーン投影が可能になります。

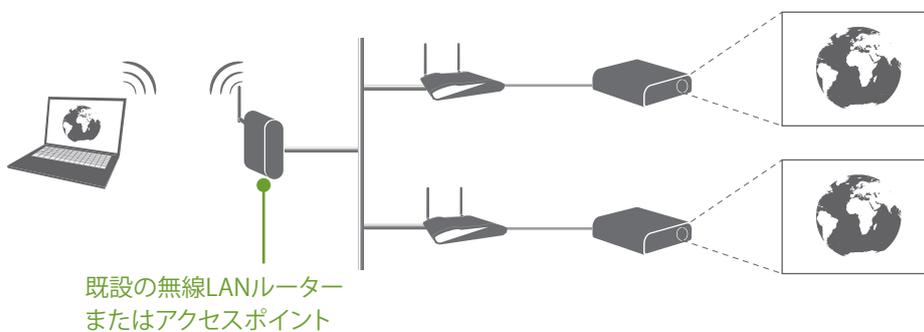
※ 1 台の PC や Mac から 4 台までの wivia 本体に同時に画面投影することができます。

■ wivia 本体が複数存在する場合の接続例

① 有線 LAN で接続する



② 既設無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントを介して接続する



③ 既設無線 LAN ルーターまたはアクセスポイントの無線 LAN 子機を介して接続する

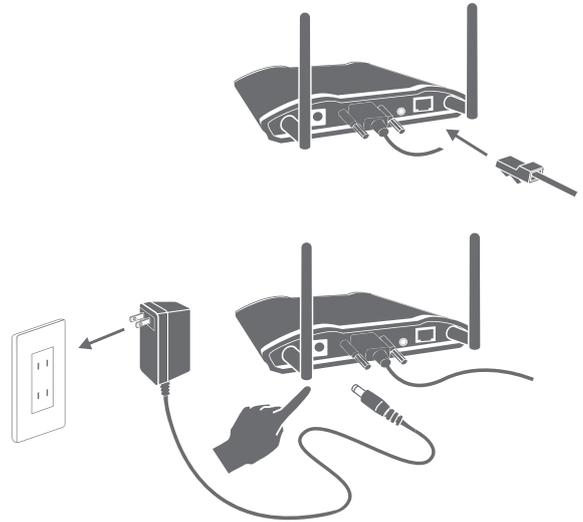




ネットワーク構成方法について -2

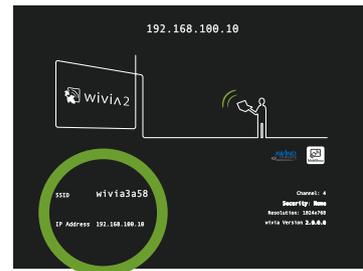
■ wivia 本体を有線 LAN で接続する手順

- 1 wivia 本体を既存ネットワークの有線 LAN に接続します
- 2 付属の AC アダプタを wivia 本体背面の電源コネクタと電源コンセントに差し込みます



- 3 表示機器の待機画面で wivia 本体が接続したネットワークの IP アドレスを取得していることを確認します

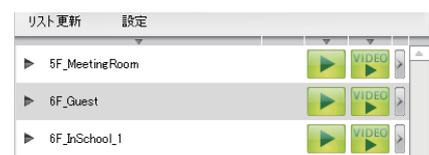
IP アドレスの自動取得を「無効」に設定している場合は、指定した IP アドレスが表示されます。



- 4 コンピューターを同じネットワークに接続し、wivia ソフトウェアを起動します

複数の wivia 本体が同じネットワーク上に存在する場合は、wivia ソフトウェアの画面リストに複数の画面名が表示されます。この場合、一台のコンピューターから複数の画面に同時投影することが可能です。

※同時投影が可能な画面数は wivia をご利用いただいている環境に依存します。



6 故障かなと思ったら

最新のサポート情報は、wivia サポート Web サイトにてご確認ください。

wivia サポート Web サイト

<http://www.uchida.co.jp/wivia/>



トラブルの内容と対策 -1

■ 設置・準備

① 表示機器に wivia 待機画面が表示されない

すべてのケーブル類が正しく接続されていることをご確認ください。また、wivia 本体の電源ランプが緑色に点灯していることをご確認ください。

② wivia ソフトウェアをインストールできない

一般ユーザー権限のユーザーでは、wivia ソフトウェアのインストールができません。wivia ソフトウェアのインストールは管理者権限を持つユーザーで行ってください。

③ USB から起動できない

セキュリティソフトウェアなどにより、USB トークンへのアクセスをブロックされることがあります。この場合、USB トークンからソフトウェアを利用することはできません。セキュリティソフトウェアのセキュリティレベルを低く設定するか、システム管理者にお問い合わせください。

付属の USB トークンに入っている wivia ソフトウェアは Windows 用です。Mac OS X では利用できません。

④ wivia 本体に接続できない

wivia 本体の電源ランプが緑色に点灯していることをご確認ください。

無線 LAN をご利用の場合、コンピューターの無線 LAN が有効になっていることをご確認ください。有線 LAN をご利用の場合、コンピューターがネットワークに接続されていることをご確認ください。

ご利用の PC が接続したい wivia 本体のネットワークに接続されていることをご確認ください。wivia 本体を既存のネットワークに接続している場合、検索の設定から wivia 本体のネットワークを検索対象に追加することもできます。

セキュリティソフトウェアのパーソナルファイアウォール機能によりネットワーク通信が制限されることがあります。セキュリティソフトウェアを無効にするか、wivia による通信を許可する設定を行ってください。



トラブルの内容と対策 -2

■ 画面投影

⑤ 投影できない

wivia ソフトウェアのリスト更新ボタンを押して、wivia 本体を再検索し、再度投影ボタンを押してください。wivia 本体がカンファレンスコントロールモードで動作しているときは、管理画面で許可されているユーザー以外から投影を操作することはできません。

セキュリティソフトウェアのパーソナルファイアウォール機能によりネットワーク通信が制限されることがあります。セキュリティソフトウェアを無効にするか、wivia による通信を許可する設定を行ってください。

⑥ 一部の画像が投影されない

一般ユーザー権限で wivia ソフトウェアを利用している場合、一部の画像が wivia 本体に正しく投影されないことがあります。また、ポップアップ画像などは wivia 本体に正しく投影されないことがあります。Windows 用の wivia ソフトウェアをご利用の場合は、投影モードを DirectX 表示モードに変更することで改善する可能性があります。ただしその場合には、画面描画が通常転送モードに比べて遅くなり、お使いのコンピューターのパフォーマンスに影響を与えることが考えられますので、予めご了承ください。[参照 25 ページ](#)

すべての画像を正確に投影したい場合は、PC と表示機器を直接 VGA ケーブルで接続してください。

⑦ 一部のソフトウェアの画面が投影されない

一部の CAD ソフトウェアのような OpenGL を多用するソフトウェアや、DirectX を多用するソフトウェアと wivia の画面投影機能との併用は利用できないことがあります。

Windows 用の wivia ソフトウェアをご利用の場合は、投影モードを DirectX 表示モードに変更することで改善する可能性があります。ただしその場合には、画面描画が通常転送モードに比べて遅くなり、お使いのコンピューターのパフォーマンスに影響を与えることが考えられますので、予めご了承ください。[参照 25 ページ](#)

すべての画像を正確に投影したい場合は、PC と表示機器を直接 VGA ケーブルで接続してください。

⑧ 遅延して投影される

wivia はネットワークを介して画面データを wivia ソフトウェアから wivia 本体へ転送します。ネットワーク帯域やネットワークの利用状況によっては、投影の遅延や停止が発生することがあります。正確に投影したい場合は、PC と表示機器を直接 VGA ケーブルで接続してください。

⑨ 投影画面で動画がきれいに映らない

画面投影機能で動画をスムーズに再生できない場合は、画面投影機能ではなく動画再生機能をお使いください。

[参照 22 ページ](#)

⑩ 画面投影と同時に音声再生されない

Mac 用の wivia ソフトウェアでは、画面投影と同時に音声を再生することはできません。

Windows 用の wivia ソフトウェアをご利用の場合は、「音声と画質の設定」で「音声を同時に転送する」が選択されていることをご確認ください。

Windows XP をご利用の場合、wivia ソフトウェアに加え、wivia 音声転送ソフトウェアがインストールされていることをご確認ください。

「画面投影ボタン」では、「音声と同時に転送する」が設定されていても、画面投影と同時に音声は再生されません。画面投影と同時に音声を再生する場合は「音声付き全画面投影ボタン」をクリックしてください。

画面投影と同時に音声を再生することができるのは 1 画面のみです。複数画面に音声を再生することはできません。また、4 分割投影では、音声は再生されません。[参照 20 ページ](#)



トラブルの内容と対策 -3

■ 動画投影

⑪ 動画再生機能で動画が正しく再生されない

Blu-ray Disc、HD DVD ディスクの動画については、一部再生できないものがあります。また、一部のコーデックには対応していません。詳しくは対応動画形式一覧をご参照ください。 [\(参照 23 ページ\)](#)

wivia は著作権保護機能 (HDCP) には対応していません。HDCP が必要な動画など、再生環境に制限のある動画は再生できないことがあります。

クローンモードでの動画再生は非対応です。

wivia 本体がカンファレンスコントロールモードで動作しているときは、動画再生をすることはできません。

すべての動画を正確に投影したい場合は、PC と表示機器を直接 VGA ケーブルで接続してください。

セキュリティソフトウェアのパーソナルファイアウォール機能によりネットワーク通信が制限されることがあります。セキュリティソフトウェアを無効にするか、wivia による通信を許可する設定を行ってください。

■ wivia Snaps

⑫ wivia Snaps 画面にアクセスできない

wivia Snaps 設定を有効にしていないと、wivia Snaps はご利用になれません。

Web 管理画面で、wivia Snaps 設定を有効に設定されていることをご確認ください。

⑬ wivia Snaps 画面が正しく表示できない

10 名以上などの大人数で利用されると、画面が設定した間隔で正しく更新されない場合があります。

一部の機能で投影された画面は、wivia Snaps からは閲覧できません。非対応の機能で投影を実行中には、wivia Snaps では待機画面 (Ready 画面) が表示されます。

■ その他

⑭ 管理画面にアクセスできない

ブラウザでのプロキシの設定によりアクセスできないことがあります。

一部のブラウザでは正しく表示されないことがあります。

ブラウザのセキュリティを高く設定していると、管理画面が表示できないことがあります。

⑮ 管理画面で言語の切り替えができない

JavaScript を有効にしていないと、管理画面が正しく動作しないことがあります。ブラウザの設定で、JavaScript を有効にしてください。



エラーメッセージ一覧

メッセージタイトル	説明
ネットワーク接続失敗	ネットワークに接続することができなかった場合に表示されます。 ご利用されている PC のネットワークが利用可能な状態であることを確認してください。
接続可能デバイスなし	接続できる wivia 本体が見つからない場合に表示されます。 wivia 本体の電源が入っているか、ネットワークに繋がっているかを確認してください。
ネットワーク接続中断	ネットワークが一時的に通信できない状態になった場合に表示されます。 ネットワークの状況を確認してください。
投影失敗	画面投影に失敗した場合に表示されます。ネットワークが一時的に通信できない状態になることにより、画面の投影に失敗することがあります。ネットワークの状況を確認してください。
ファイル形式エラー	選択された動画ファイルの形式が未対応である場合に表示されます。 wivia のビデオ再生が対応しているメディアファイルであることを確認してください。 また、ファイルの形式（.wmv ファイルなど）が正しくても、利用されているコーデックによっては再生ができないことがあります。ファイル形式の詳しい対応状況は対応動画形式一覧をご覧ください。 参照 23 ページ
ビデオ再生失敗	ビデオ再生を開始できなかった場合に表示されます。 wivia のビデオ再生が対応しているメディアファイルであることを確認してください。 また、ファイルの形式（.wmv ファイルなど）が正しくても、利用されているコーデックによっては再生ができないことがあります。ファイル形式の詳しい対応状況は対応動画形式一覧をご覧ください。 参照 23 ページ



故障の場合の連絡先

問題が解決されない場合は、下記のウチダヘルプデスクまでご連絡ください。

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前には以下のものをご用意ください。

- 弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ご使用のコンピューターの型番、オペレーティングシステム名およびネットワーク環境
- ご質問内容（現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください）
- ご使用中の wivia のファームウェアおよびソフトウェアのバージョン

ウチダヘルプデスク

電話によるお問い合わせ：0120-550-956（携帯電話からはつながりません）

Eメールによるお問い合わせ：wivia-help@esco.co.jp

7 仕様

仕様

無線 LAN 仕様

規格	IEEE 802.11b/g/n 2.4GHz
通信距離	最大100m(ただし障害物がない場合)
最大通信速度	144Mbps
セキュリティ	WPA2-PSK (AES) / WPA-PSK (AES) / WEP (128/64bit)

※デュアルチャンネル（40MHz 幅）で動作します。

有線 LAN 仕様

規格	IEEE 802.3 (10BASE-T) / IEEE802.3u (100BASE-TX)
ポート数/コネクタ形状	RJ-45コネクタ×1
最大通信速度	10/100Mbps(オートネゴシエーション)

動画像出力仕様

表示解像度	SVGA (800×600) / XGA (1024×768) / HDTV (1280×720) / WXGA (1280×768,1280×800) / SXGA (1280×1024) / FWXGA (1360×768)
インターフェイス	15ピンVGA×1
オーディオ	ステレオミニプラグ

専用ソフトウェア動作環境

OS	Windows 8 / Windows 7 SP1 / Windows Vista SP2 / Windows XP SP3 / Mac OS X 10.8.2 / Mac OS X 10.7.3 / Mac OS X 10.6.8 / Mac OS X 10.5.8 / Windows Mobile 6.5 / iOS 4.3.5 / iOS 5.1 / iOS 6.0.1 / Android 2.2 / Android 2.3 / Android 3.2 / Android 4.0
各種設定環境	専用ソフトウェア / Webブラウザ

※ Mac OS X 用 wivia ソフトウェアは、インテル製プロセッサが搭載された Mac (Intel Mac) のみの対応です。

ハードウェア仕様

電源(ACアダプタ)入力	AC100V-240V 50/60Hz 0.3A
電源(ACアダプタ)出力	DC5V 2.5A
外形寸法(mm)	117mm(W) × 140mm(D) × 27mm(H)
動作温度 / 保管温度	0~40℃ / -10~60℃
動作湿度 / 保管湿度	90%以下 / 80%以下(ただし結露の無い状態)
本体質量	279g